

平成25年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター</p> <p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動の施設として設置</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月 【構造】一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成25年1月4日～平成28年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成24年度91,624千円、平成25年度336,530千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 173,693人(前年度41,310人※3ヶ月分) ・利用件数 15,144件(稼働率78.6%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修(期間中2回実施)により、駅前の公共複合施設という特性を全従業員に認知させ、業務を実施しました。 ・独自のホームページの開設・毎月発行の「コミュニティセンターだより」の発行によりさいたま市のコミュニティ活動等の中心拠点として情報を発信しました。 ・新規開設施設の為、利用者様からのご意見・ご要望を早い段階で業務に反映させる為、指定管理者内部の体制の強化、サウスピア内の南区役所、図書館、子育て支援センターとの連携体制の強化を図る為に指定管理者側では毎週の責任者会議、サウスピア施設内では毎月の連絡調整会議を実施し体制を強化しました。また、地元関係団体・学校との連携を図る為に地域連絡協議会を発足させ実施しました。 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的実施する設備定期点検・定期清掃に関しては予定通り完了しました。 ・建築物・設備に関しては小規模の不具合が発生しましたが、さいたま市、建設会社等と連携し、ほぼ完了しました。 ・施設警備に関しては混乱が予想された為、当初の計画より3名の増員で実施しました。

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 336,530千円(前年度 91,624千円) ・文化事業収入 2,000千円(前年度 311千円) ・その他収入 1,410千円(前年度 147千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 186,049千円(前年度 41,123千円) ・事務費 72,192千円(前年度 26,758千円) ・施設管理費 73,033千円(前年度 14,000千円) ・事業費 2,291千円(前年度 290千円)
(7)その他	<p>利用者からの意見・要望等への対応など 平成25年度は利用者満足度調査(外部機関調査)を実施しました。 平成24年度はヨガ・エアロビクス等、体を動かす講座を増やして欲しいとの要望があったので、平成25年度の事業計画に反映させ、実施しました。また、マナーの悪い利用者に対する不満の意見があったので施設内のルール(館内規則)を随時見直し、更新しました。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
関係法令順守・個人情報保護	職員研修により関係法令遵守と個人情報保護を職員に徹底してまいりました。
自主事業実施と地域のコミュニティ活動の支援	幅広い分野の自主事業を開催してまいりました。またサークル設立の支援をして、実際に数多くのサークルが設立されました。 コミュセン祭りで利用団体の地域活動発表の場を設けました。
経費削減・省エネルギー推進によるコスト削減	サウスピーア全体のエネルギー使用量を施設ごとにデータ化し、エネルギー管理をしてまいりました。また、電気につきましては時間外や使用していないスペースの消灯を徹底しております。平成26年度からはさらにデータを元に省エネルギー推進に努めてま
利用者安全確保の取り組み等	平成25年度は平成24年度に引き続き、警備員を当初の計画より3名増員して利用者の安全確保に努めました。 消防計画・館内規則・危機管理マニュアルを整備し、随時必要に応じて更新しており

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

新規職員につきましては、さいたま市内の地元雇用を徹底してまいりました。また維持管理等の委託業者につきましても市内の業者を優先的に採用しました。
コミュセン祭りにてコミュニティセンターとして初めての4人組「コミセンジャー」という名のキャラクターヒーローを誕生させました。
区役所を含む複合施設という特性から、利用者様からのご意見・要望は施設内での情報の共有化や、さいたま市への報告を綿密に行って業務にあたってまいりました。利用者対応に関しましては新規施設の為、細かい問題は多く、試行錯誤の繰り返しでしたが大きな問題も無く無事、平成25年度の運営を終える事ができました。平成25年度に頂いたご意見・ご要望に関しましては平成26年度の運営に反映させております。
武蔵浦和コミュニティセンター指定管理者として、特に力を入れたのは自主事業です。自主事業は平成25年度は66種、136回に及ぶ講座を実施。多くの方に参加して頂く為、幅広いジャンルでバランスを考えて実施。また、どの事業も90%を超える参加率で、どの事業も次回の開催の要望が多くでました。また、他施設との差別化を図り、元宝塚の講師を招いての事業など、独自のネットワークを生かした事業も実施いたしました。
地元、大学や、NPOとの連携事業の実施や、文化・運動系サークルの設立・活動サポートを自主事業を通して支援してまいりました。昨年度の課題であった市民活動サポートセンターとの共催でチラシ講座を実施しました。(参加率94%)

(2) さいたま市の評価(評価担当課: 市民・スポーツ文化局 市民生活部 コミュニティ推進課)

総合評価 (B) ※A~D
・開館から1年を過ぎ、概ね良好な管理運営を行なえていると思われる。
・本市コミュニティセンターとしては、市の外郭団体以外では初の指定管理者であり、民間のノウハウを生かした研修の実施や、アンケートの内容も講座内容に応じて質問事項を変えるなど 利用者のニーズを把握する努力をしている。
・他のコミュセンとの連携については、指定管理者が異なるため今後期待するところがあるが、市民活動サポートセンターや公民館などとの連携には積極的である。
・施設の維持管理については、維持管理業務を直営でおこなっており、きめ細かい維持管理が行われているが、業務報告が各部門ごとで終わっているため、館長への報告が必要と思われる。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と市民との協働が図れるよう、コミュセンまつりをはじめとする自主事業の積極的な展開を行うよう指導していく。